I Peace, Inc.（アイ・ピース株式会社）
809 San Antonio Road, Suite 7, Palo Alto, California 94303 U.S.A.
WEB: https://ipeace.com/

2026 年 11 月 24 日
I Peace, Inc.

# アイ・ピース、国際ロンジェビティサミットを共催パートナーとして開催
# iPS 細胞による健康長寿の新たな可能性をマール・ア・ラーゴから世界に発信

米国カリフォルニア州パロアルトに本社を置くバイオテクノロジー企業 I Peace, Inc.（創業者・CEO：田辺剛士、以下「I Peace」）は、2026 年 11 月 19 日（米国現地時間）に米国フロリダ州パームビーチの「The Mar-a-Lago Club（マール・ア・ラーゴ）」にて開催された国際ロンジェビティサミット「Longevity Summit」を、共催パートナーとして主催団体である Global Longevity Association（GLA）と共同開催いたしました。
マール・ア・ラーゴは、フロリダ州パームビーチにある歴史ある高級会員制クラブで、ドナルド・トランプ米大統領の私邸でもあります。米国の政治・経済界でも広く知られる同施設を会場に、今回、健康長寿（Longevity）をテーマとした国際サミットが開催されました。
本サミットには、ロンジェビティ分野の研究者、医師、投資家、起業家、ヘルスケア業界のリーダーが集まり、健康寿命の延伸に向けた科学技術や新たな医療・事業の可能性について様々な議論が行われました。

アイ・ピースの創業者・CEO である田辺剛士は、約 20 年間にわたる iPS 細胞研究・開発の経験をもとに、再生医療実用化の進展状況と、iPS 細胞技術を活用した次世代ロンジェビティの可能性について講演しました。

## 世界のロンジェビティ関係者との連携を加速

本サミットをアイ・ピースとともに主催する Global Longevity Association（GLA）は、健康長寿分野における科学、医療、事業の発展を目指す国際的なネットワークです。
今回のイベントは、GLA President の Ella Davar 氏のリーダーシップのもとに企画され、世界各国の研究者、医師、投資家、企業経営者らが、ロンジェビティ分野の最新動向や今後の事業展開について意見を交わす機会となりました。

アイ・ピースは、今回の共催パートナーとしての共同開催を通じ、米国を中心とした国際的なネットワークをさらに強化し、ロンジェビティ分野における研究機関、医療機関、製薬企業、投資家との連携を加速させていきます。
今後も、iPS 細胞の製造・バンキング事業を基盤としながら、再生医療からロンジェビティへと事業領域を拡大し、健康寿命の延伸に貢献する新たな技術の開発と社会実装を推進してまいります。

**アイ・ピース 創業者・CEO 田辺剛士 コメント**

「私がヒト iPS 細胞の開発研究に携わるようになったのは約２０年前のことです。その当時は、ヒトの細胞を初期化し、さまざまな組織の細胞へと変化させること自体が非常に大きな科学的挑戦でした。２０年の時を経て、iPS 細胞から作られた細胞を実際に患者さんへ移植する時代が到来しました。
そして今私たちが目指しているのは、iPS 細胞技術をいわゆる病気の治療に適用するだけでなく、健康な状態をより長く維持するためにも活用することです。
世界のロンジェビティ分野の関係者が集まるマール・ア・ラーゴで、今回私たちの研究の現状と将来に向けたビジョンを共有できたことを大変うれしく思います。
アイ・ピースは、これまで培ってきた iPS 細胞技術を基盤に、安全性と科学的根拠を重視しながら、世界中の人々の健康長寿に貢献することを目指してまいります。」

**iPS 細胞技術の実用化から、健康長寿への新たな挑戦**

iPS 細胞は、血液や皮膚などの体細胞を初期化することで作成される、さまざまな種類の細胞へ分化する能力を持つ多能性幹細胞です。
近年日本では、iPS 細胞由来の心筋細胞や神経細胞を用いた再生医療の開発が進展し、心不全やパーキンソン病などを対象とした治療の実用化が進みつつあります。
また、iPS 細胞の作製過程では、細胞の老化に関連する様々な特徴がリセットされることが知られており、この技術を健康長寿の実現に応用しようとする研究にも注目が集まっています。

これまで、アイ・ピースは医療用グレードの iPS 細胞を安全かつ安定的に製造する技術の開発に積極的に取り組んできました。現在は、こうした製造技術や細胞リプログラミングに関する知見を活用し、生体外での iPS 細胞技術を基盤とした新たなロンジェビティ研究を進めています。
今回の国際ロンジェビティサミットにおいて、iPS 細胞技術の進歩の現状とともに、細胞の若返りに関する科学的知見や安全性の課題、そして健康長寿への応用可能性に

ついて紹介させていただきました。
私たちアイ・ピースは、再生医療分野で培った技術をさらに発展させ、人々が健康な状態をより長く維持するための新たな医療技術の創出を目指していきます。

**アイ・ピースについて**

アイ・ピース（I Peace, Inc.）は、2015 年に米国カリフォルニア州で設立された、iPS 細胞ならびに iPS 細胞由来分化細胞の製造技術開発を専門とするバイオテクノロジー企業です。
米国パロアルトに本社を置き、日本国内に GMP 細胞製造施設を有しています。
医薬品開発企業向け臨床グレード iPS 細胞の製造に加え、個人が自身の iPS 細胞を将来の医療に備えて保管することができるパーソナル iPS 細胞バンキング事業などを展開しています。
「iPS 細胞技術の民主化」をミッションに掲げ、再生医療およびロンジェビティ分野における研究開発と社会実装を推進しています。

会社名： I Peace, Inc.
本社所在地： 米国カリフォルニア州パロアルト
日本子会社：I Peace, Ltd.（アイ・ピース株式会社）、京都市
iPS 細胞製造拠点（Peace Engine Kyoto）：京都市
創業者・CEO： 田辺剛士
設立： 2015 年
事業内容： iPS 細胞の製造・受託開発、パーソナル iPS 細胞バンキング、ロンジェビティ関連研究開発
公式サイト： https://www.ipeace.com

## 開催概要
イベント名： Longevity Summit
開催日： 2026 年 11 月 19 日（米国現地時間）
会場： The Mar-a-Lago Club（米国フロリダ州パームビーチ）
主催： Global Longevity Association
共催パートナー： アイ・ピース
主な参加者： 投資家、医師、起業家、ヘルスケア業界関係者
イベント公式ページ： https://luma.com/longevity-maralago